

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>二 熱中症対策について (二) 社会福祉施設における熱中症対策について この夏は記録的猛暑が続き、熱中症による救急搬送は、速報値で今季3,253人と急増し、9人が亡くなっています。北海道・東北地域では最多です。暑さに弱い乳幼児や高齢者、障がい者等が過ごす社会福祉施設における今夏の熱中症対策をどう評価しているのか。また、新型コロナウイルス感染症対策の支援と同様に、熱中症対策についても道の支援が必要と考えますが、知事はどう取り組むのか伺います。</p>	<p>【保健福祉部長】 社会福祉施設における熱中症対策についてでございますが、乳幼児や高齢者の方々につきましては、暑さに対する体温の調整機能が働きにくいなど、熱中症の発生リスクが高いことから、各施設では、利用者の体調や水分補給の状況などを把握しながら、熱中症対策に努めているところであり、この夏の記録的な猛暑に伴い、道所管の施設におきましては、利用者が熱中症により救急搬送される事例はあったものの、施設の速やかな対応により、大事には至らなかったところでございます。 道では、運営指導時に入所者等の健康管理が適切に行われているかを確認し、必要な指導を行うとともに、熱中症警戒アラートが発表された際には、該当地域の市町村を通じ、各施設へ注意喚起するほか、空調設備の整備に係る各種支援制度の活用が図られるよう周知しており、今後も、社会福祉施設における熱中症対策に適切に取り組んでまいります。</p>